

令和5年度 専門分科会の調査審議結果について

●地域福祉専門分科会

所掌事務	地域福祉に関すること，地域福祉に係る各種計画策定に対する提言及び進行管理
開催日時	令和6年2月8日（木） 午前10時～午前11時20分
調査審議内容	「宇都宮市地域共生社会の実現に向けた福祉のまちづくりプラン」の取組状況について
調査審議結果	<p>1 「宇都宮市地域共生社会の実現に向けた福祉のまちづくりプラン」の取組状況について 別紙3</p> <p>(1) 計画の進行管理について 各施策の代表的・効果的な37取組については「重点取組」として，毎年度，「やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進委員会」および「社会福祉審議会 地域福祉専門分科会」において進捗を確認する。 ※ <u>今年度は，3つの基本目標ごとに，重点取組のうち，新規事業を中心に取組状況を報告・評価する。</u></p> <p>(2) 令和5年度の取組状況（総括）の評価について 【基本目標1】福祉の心をはぐくむ人づくり 市民一人ひとりが身の回りの人にちょっとした手助けを行えるよう周知啓発を行い，概ね順調に取り組んでいる。 【基本目標2】共に支え合う地域づくり 市民の自発的な活動の支援を行うとともに，多様な主体が連携するためのネットワークづくりに取り組み，概ね順調に進んでいる。 【基本目標3】安心して暮らせる福祉の基盤づくり 保健と福祉のまるごと相談窓口「エールU」や市成年後見支援センターなど相談支援体制を強化するとともに，バリアフリーに関する取組を進めるなど，概ね順調に取り組んでいる。</p> <p>(3) 分科会における主な意見について 【エールUについて】 ・複雑化・複合化した相談については，既存のしくみだけでは完結しないことも多い。対応できた事例と，対応できない事例を積み上げ，地域団体と連携させる新しいスキームも検討すべき。 【宮っこの居場所づくりについて】 ・宇都宮市の宮っこの居場所づくりは，子ども家庭庁よりも先行した取組であり評価している。国のモデル事業における補助を活用することや，宇都宮モデルを全国に広めることを検討いただきたい。 【地域共生社会の実現に向けて】 ・空き家が子どもの居場所といった事業に使えば理想的と思う。 ・精神障がい者の居場所づくりについても考えていただきたい。 ・社会福祉法人の公益的な取組などと，市の事業を連携させることも有効である。</p>